「人は見た目で」

少年
おじさん

人は見た目で

夕暮れの公園。少年がバットを振っている。ベンチに座っているおじさんが、空き缶を灰皿にしてタバコを吸いながらその姿を見ている。おじさんは背広に運動靴。頭には巨人軍のキャップ。レジ袋の中にはスノーバーで買ったお菓子や菓子パン。おじさんはずっとバットを振る少年を見ている。

おじさん　なあ。
少年　何。(バットを振る)
おじさん　帰んないのか
少年　うん。(バットを振る)
おじさん　もうすぐ暮れるぞ。
少年　暮れるね。(バットを振る)
おじさん　なあ。
少年　うん。(バットを振る)
おじさん　帰った方がいいぞ。
少年　なんで。(バットを振る)
おじさん　知ってるだろ。
少年　何を。(バットを振る)
おじさん　猫の話。
少年　おじさんはさ。
おじさん　何。
少年　帰んないの？
おじさん　うん。
少年　もうすぐ暮れるよ。
おじさん　暮れるな。
少年　ねえ。
おじさん　うん。
少年　帰ったほうがいいよ。
おじさん　なんで。
少年　知ってるだろ。
おじさん　何を。
少年　猫の話。

少年は振りつづける。おじさんは小さな箱を少年に差し出す。キャラメルのような。

おじさん　食うか？
少年　いらない。

「人は見た目で」

「人は見た目で」

おじさん 遠慮すんな。
少年 いない。
おじさん 腹減ってんだろ。
おじさん ほら。
少年 知らない人からももらっちゃいけないから。
おじさん よく見ろ。おじさん毒盛りそうな顔してるか？
少年 ……。(バットを振る)
おじさん なんか言えよ。
少年 怪しいよ。だってスーツに運動靴に眼鏡に髭に野球帽だよ。見れば見るほど怪しすぎるよ。
おじさん 人を見かけで判断しちゃいかん。
少年 今のところ見かけ以外に判断する材料ないもの。
おじさん いろいろ失礼なやつだな。
少年 おじさんさ、早く帰りなよ。
おじさん なんで早く帰したがる。怪しいな。何をたくらんでる
少年 お前が先に帰ればいい
おじさん 帰らないよ。まだやることあるもの
少年 おじさんも帰らない
おじさん なんで帰らないのさ？
少年 おじさんはさ
少年 うん
少年 探してるから
少年 何を。
少年 プロの逸材を。
少年 は？
少年 おじさんスカウトマンだから。ジャイアンツの。
少年 ……。
少年 驚いた？
少年 いや。おかしいでしょ。
少年 どこが。公式の場面にもふさわしいように背広。グラウンドで動きやすい運動靴。選手の動きがよく見えるように眼鏡。そして日差しをよける帽子。スカウトマンの正装だ。
少年 いろいろおかしいけど、一番おかしいのは帽子。その帽子は、ない。ジャイアンツのスカウトマンはジャイアンツの帽子かぶらないでしょ。
おじさん おかしくない。ジャイアンツの一員の証だ。

「人は見た目で」

少年
もうなんでもいいから帰るかどっか行くかしてよ。さつきから気になってし
ようがないよ。

おじさん
おじさんもさつきから気になってしょうがない。

少年
何が。

おじさん
お前さあ

少年
うん。

おじさん
下手だろ、野球。

少年
余計なお世話だよ。

おじさん
余計なお世話をしたくなるほどにへたくそだ。あのな、もっかい構えてみ。

少年
しなくていいからさ、お世話。

おじさん
いや、してやる。

少年
いらないから。

おじさん
だったら帰れよ。

少年
帰んないよ。

おじさん
だったら構えろよ。

少年
なんでその二択なの。

おじさん
俺気になっちゃうのよ。その、へったっぱなスイング見てるとき。素振りつ
てのはな、フォームのチェックが大事なわけよ。型よ型。ボールが来たとき
ちゃんとバットの芯に当てることができる型。そしてもっと大事なものはミ
トした瞬間にボールがつぶれるくらい最大の衝撃が伝わる型。それを身につ
けるために振らなきゃいけないのなんだお前のそのスイングは。そんなも
ん百回振ろうが千回振ろうが意味ないんだよ。だからもうお前帰って寝るか
俺に振り方教わるかどっちかにしろ。

少年
むちゃくちゃだな。

おじさん
むちゃくちゃなのはお前のスイングだ。

少年
いいから帰ってよ。

おじさん
決めた。教えるまで帰らん。帰ってほしかったら教えさせろ。

少年
えー。

おじさん
はい。じゃあ構えて。

少年、
しぶしぶ構える。

おじさん
あー

少年
何？

おじさん
左利きだな。

少年
見りゃわかるだろ。

「人は見た目で」

おじさん あー
少年 なんだよ。
おじさん だめだわ。
少年 どこが。
おじさん 全然ダメ。最初の構えからダメ。もつとさ、腰を落として。
少年 こう？
おじさん もっと
少年 こう？
おじさん おー、そうそう
少年 こんなに？
おじさん そう、それくらい深く。でな、こうバットをたてて
少年 こう？
おじさん おー、そうそう、そんな感じ。だいぶ良くなってきた。
少年 これかっこ悪くない？
おじさん かっこなんか関係ない。要は打てるかどうかだ
少年 こんなかっこじゃ打てないよ
おじさん 馬鹿！昔その構えでヒット量産したすげえ外国人選手がいたんだよ。クロマ
ティって言うってな
少年 知らないよ！
おじさん 松本篠塚クロマティ原吉村中畑岡崎山倉
少年 は？
おじさん 松本篠塚クロマティ原吉村中畑岡崎山倉
少年 なんだそれ？
おじさん 昭和61年。ジャイアンツの打順だ。すごいメンバーだろ
少年 よくわかんなない
おじさん 3割6分3厘。あの年のクロマティの打率。驚きだろ。
少年 おじさんの知識に驚いてる。
おじさん こんなもんは驚くことじゃない。普通だ。
少年 普通じゃないでしょ。
おじさん おじさん子どもの頃、毎日見てたから、テレビで。
少年 毎日？嘘だろ。
おじさん 嘘じゃない。あの頃は毎日やってた。それも巨人戦ばかり。だから打順も
覚えるし、みんな巨人ファンになる。
少年 今じゃ考えられないね。
おじさん パースと落合は三冠王。清原は高卒新人で31本ホームラン打って、衣笠は
2000試合連続出場。あの年の日本シリーズは広島と西武が第八戦までも

「人は見た目で」

少年 つれこんでな。面白かったなあプロ野球。
何言ってるか全然わかんない。
おじさん 俺はさ、やっぱり野球中継を復活させるべきだと思うね。そうすりゃ世の野
球少年たちはこんな時間までぶらぶらせずに家に帰るはずだ。

少年はまたバットを振る。

おじさん ♪らくーをしてーもクロウクロウ。くろうしてーもクロウクロウ
少年 何それ？
おじさん 応援歌。クロマティの。クロウってのはクロマティの愛称な。
少年 やめてくんない。歌うの。気持ち悪いから。
おじさん なんてだよ。おじさん応援してやってんのに。

少年はバットを振る。

おじさん なあ。
少年 何。(バットを振る)
おじさん 帰んないのか
少年 うん。(バットを振る)
おじさん もうすぐ暮れるぞ。
少年 暮れるね。(バットを振る)
おじさん なあ。
少年 うん。(バットを振る)
おじさん 帰った方がいいぞ。
少年 なんて。(バットを振る)
おじさん 知ってるだろ。
少年 何を。(バットを振る)
おじさん 猫の話。
少年 おじさんはさ。
おじさん 何。
少年 帰んないの？
おじさん うん。
少年 もうすぐ暮れるよ。
おじさん 暮れるな。
少年 ねえ。
おじさん うん。

「人は見た目で」

少年 帰ったほうがいいよ。
おじさん なんて。
少年 知ってるだろ。
おじさん 何を。
少年 猫の話。

少年は振りつづける。おじさんは小さな箱を差し出す。

おじさん いるか？
少年 いない。
おじさん 遠慮すんな。
少年 知らない人からももらっちゃいけ、何それ？
おじさん たばこだ。
少年 ばかかおっさん。何子どもに煙草勧めてんだよ。
おじさん キャラメルはいららないんだろ。
少年 だめだろそれは。
おじさん 内緒にしといてやるから。
少年 しなくていいよ。どうせ吸わないし。
おじさん たばこぐらいにしとけ。むしゃくしゃしたときは。
少年 ……
おじさん 内緒にしといてやるから。
少年 ……おじさんはぎ。
おじさん うん？
少年 なんで帰らないの？
おじさん おじさんはぎ
少年 うん
おじさん 探してるから
少年 何を？
おじさん クロウ
少年 クロマティはとっくに引退してるでしょ
おじさん 探してるのはクロマティじゃなくて
少年 じゃなくて？
おじさん 黒猫の、クロウ。
少年 ……
おじさん クロウってのは俺が勝手につけたんだけどな
少年 ……

「人は見た目で」

おじさん 昨日はここにいたはずなんだけど
少年 ……
おじさん 今日は姿が見えなくて
少年 ……
おじさん お前、見てない？
少年 ……

どこからか猫の鳴き声が出ている。
それは、少年が置いていた大きなリュックサックの中からだ。
リュックをあけると、そこに黒猫がいた。

おじさん お前…。
少年 この猫、おじさんの？
おじさん いや。
少年 よかったー。
おじさん え？
少年 この辺危ないからさ、どっか違うとこに連れて行こうと思ったの。うちアパートだから飼えないし。
おじさん あ、そー。そういうこと。びっくりしたなー。
少年 あ、もしかして。ないない。そんなことしないって。
おじさん だよな。

少年はリュックの中の猫をじやらす。

おじさん ♪らくーをしてーもクロウクロウ。くろうしてーもクロウクロウ
おじさん この歌バックにクロマティは打ちまくるんだ。

二人で応援歌を歌う。
おじさんはバットを振る。

おじさん 疑われるぞ。リュックに猫なんか入れてると。
少年 疑ってたろ
おじさん 疑わないさ。野球好きに悪いやつはいない
少年 そうなの？
おじさん そうなの
少年 じゃあおじさんも大丈夫だね

「人は見た目で」

おじさんは小さな箱を差し出す。キャラメルだ。
少年は受け取る。箱に何か書いてある。

少年 「どくいりきけん たべたらしぬで」なにこれ？
おじさん 知らないか？グリコ・森永事件
少年 知らない。
おじさん じゃあいい
少年 入ってるの？毒
おじさん 食べてみればわかる

少年、ためらうが、口に入れる。
おじさんはバットを振る。

少年 見たくて判断しちゃいけないね。
おじさん 見たくてわからんこともある。
少年 人も、バッティングフォームも
おじさん ま、そういうことだ。
少年 おじさん。
おじさん なんだ？
少年 ずるいよ。
おじさん 何が？
少年 おじさんのフォーム、クロマティじゃない
おじさん おじさん、右利きだから
少年 かっこわるいからだろ
おじさん ああ、かっこわるい
少年 なんだよそれ
おじさん 時には見た目も大事だ

おじさんはバットを振る。何度も振る。いいスイングだ。
少年は応援歌を歌う。おじさんを応援するように、リュックの中のクローに語りかけるように。

おじさんはゆっくりと少年の方に近づいて構えなおす。
暗くなる。ひととき大きなバットを振る音。
すっきりと陽が落ちて音の絶えた公園で、おじさんは煙草に火をつけた。

了

「人は見た目で」